



**マスコミ関係者へ
JA種子屋久をアピール**

JA種子屋久とJA鹿児島県中央会は12月下旬、種子島・屋久島の農業やJAの取り組みを知ってもらうことを目的に、第30回マスコミ農業・農村研究会を開きました。

会にはマスコミ関係者12人が参加し、今年度で作付面積が100haを超え、生産量ともに県内1位となったブロッコリーと、令和4年4月から作付が予定されているサトウキビの新品種「はるのおうぎ」の圃場や集荷所を視察し室内

検討を行いました。

ブロッコリーの圃場では、営農指導員が今年度の生育状況と生産拡大の経過を説明し、中種子野菜集荷所で出荷体制の説明を行いました。

サトウキビの圃場では、はるのおうぎと従来品種の特徴を説明し、収穫作業を見学。参加者らは「ブロッコリーの生産拡大が続いている要因は何か」「はるのおうぎは他の地区でも栽培可能なのか」など、指導員に積極的に質問していました。

**地域の和牛振興に貢献
中川さんへ振興会から感謝状**

西之表市和牛振興会は12月下旬、12月子牛せり市で畜産農家を引退した中川恭子さん(82)に、地域の和牛振興への貢献に対して感謝状を贈りました。

中川さんは、過去に鹿児島県畜産共進会で上位入賞を果たし、昨年10月の鹿児島県黒牛産地宣伝販売会ではグランドチャンピオンとなった肥育素牛を生産するなど、子牛生産技術の高さに評価を得ていました。

長年に渡りご尽力いただきありがとうございます。

**JA青年部と熊毛支庁
語る会で農業の課題を共有**

JA種子屋久青年部は1月下旬、JA青年部と熊毛支庁との語る会に出席しました。

会では、青年部組織や地域が抱える①担い手不足への対応②スマート農業の導入に係る課題③甘藷基腐れ病に係る対策などの課題について話し合いました。

同部のくまげ地区支部高磯芳博部長は「青年部の現状や課題を共有できてよかった。効率的・安定的な農業経営を目指したい」と話しました。

【全体運】 気持ちのそわそわがミスを招きがち。深呼吸やつぼ押しで平常心を保って。下旬からは上昇運。積極的に行動を
【健康運】 刃物の取り扱いに慎重に。ばんそうこうを常備
【幸運を呼ぶ食べ物】 キウイ